

朗読会

一般公開

海 想起のパサージュ

イルマ・ラクーザ
多和田葉子



イルマ・ラクーザ

作家・翻訳者。チューリヒ在住。ドイツ語による小説・詩・エッセイ執筆とともに、フランス語、ロシア語、ハンガリー語、セルビア・クロアチア語などからの多数の傑出した文学翻訳を行っている。『ラングザマー：世界文学でたどる旅』山口裕之訳、共和国、2016年、『もっと、海を――想起のパサージュ』新本史斉訳、鳥影社、2018年。

多和田葉子

小説家・詩人。日本語とドイツ語で執筆活動を行う。ベルリン在住。日本では芥川賞、泉鏡花文学賞、伊藤整文学賞、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞、読売文学賞他多数、ドイツではシャミッソー文学賞、ゲーテ・メダル、クライスト賞受賞。『犬婿入り』『容疑者の夜行列車』『雲の練習生』『雲をつかむ話』他、作品多数。

日時：2018年4月11日（水）
14:00-16:30

場所：研究講義棟4階 422教室
総合文化研究所

コメンテーター

新本史斉

津田塾大学（ドイツ語文学）

司会

山口裕之

東京外国語大学（ドイツ語圏文化、表象文化論）

主催：新本史斉 科学研究費・基盤研究費(C)
共催：総合文化研究所

科研費
KAKENHI